

序、演目解説

木村富子作

一、『猿翁十種の内』

独こ

楽ま

ふたおもてみずにてるつき

二、『双面水照月』

京都芸術劇場 春秋座 芸術監督プログラム

市川猿之助

春秋座歌舞伎舞踊公演



市川門之助



市川笑也



市川笑三郎



2015年6月

12日《金》

午後4時開演

13日《土》

午後12時開演／午後4時開演

14日《日》

午後12時開演

※開場は開演の30分前

料 金〈全席指定〉—

一般 8500円 シニア(60歳以上) 8000円

学生&ユース席(25歳以下) 4500円(座席範囲指定あり) 京都芸術劇場友の会 7500円

前売開始—●京都芸術劇場友の会先行発売 3月17日(火) 10時~ ●一般発売 3月18日(水) 10時~

主催: 京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター 制作協力: 有限会社三響企画、全栄企画株式会社、株式会社ちあふる 製作: 松竹株式会社

後援: KBS京都、京都新聞、京都市教育委員会



京都芸術劇場
春秋座

市川猿之助

春秋座

歌舞伎舞踊公演

2015年6月

12日《金》午後4時開演

13日《土》
午後12時開演/午後4時開演

14日《日》午後12時開演

※開場は開演の30分前

料 金（全席指定）——

一般 8500円 シニア（60歳以上）8000円
学生&ユース席（25歳以下）4500円（座席範囲指定あり）
京都芸術劇場友の会 7500円

前売開始——

●京都芸術劇場友の会先行発売
3月17日（火）10時～

●一般発売 3月18日（水）10時～

※先行発売は3月9日（月）までの友の会ご入会でご利用いただけます。

春秋座初お目見得の序、演目解説

木村富子作
「猿翁」

「十種の内」

「猿翁」

「十種の内」

「猿翁」

「十種の内」

「猿翁」

「十種の内」

「猿翁」

「十種の内」

「猿翁」

「十種の内」

「猿翁」

「双面水照月」

「猿翁」

「十種の内」

「猿翁」

「十種の内」

「猿翁」

「十種の内」

「猿翁」

「十種の内」

「猿翁」

市川猿之助が、春秋座において初のお家芸「独楽」を。さらに「双面水照月」の難役を初役にて挑む！ともに江戸の風俗と情緒溢れる二題の本格歌舞伎舞踊を、猿之助が本拵えでご披露。

幕開きの「演目解説」もどうぞお楽しみに！

《チケット取り扱い》

- 京都芸術劇場チケットセンター
TEL.075-791-8240（平日 10:00～17:00）
- 劇場オンラインチケットストア ※要会員登録（無料）
パソコンから <http://www.k-pac.org>
携帯から <http://www.k-pac.org/theatre/m/m>
- チケットぴあ <http://t.pia.co.jp>
TEL.0570-02-9999 Pコード：442-763
- イープラス <http://eplus.jp>

- 京都新聞文化センター（京都新聞社1F窓口）
TEL.075-256-0007（10:00～17:00※土・日・祝除く）
- 京都・滋賀各大学生協プレイガイド

※シニアは60歳以上、ユースは25歳以下
※シニア・学生・ユースは要身分証明書の提示
※未就学児童のご入場はご遠慮下さい。

※車椅子をご利用のお客様・足の不自由なお客様は、お電話にてお申込み・お問い合わせ下さい。
TEL.075-791-8240（京都芸術劇場チケットセンター）

※当劇場2階席への移動は階段のみとなります。

【託児サービス（要事前予約）】6月13日（土）午後12時開演の回は託児サービスをご利用いただけます。

対象：生後6ヶ月以上7歳未満/料金：お子様1名につき1500円

申込期間：3月18日（水）～6月5日（金）17時まで

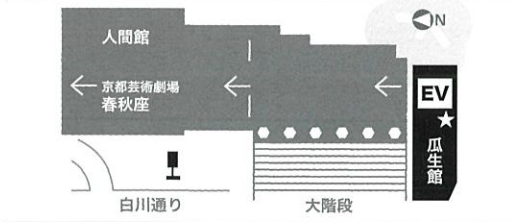
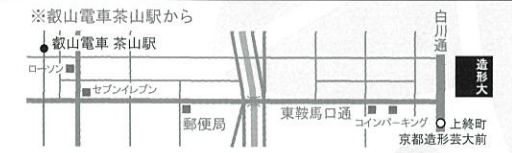
予約・お問合せ：

舞台芸術研究センター（平日10～17時）Tel：075-791-9437

京都芸術劇場 春秋座

606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116 京都造形芸術大学内

京都芸術劇場 検索



●JR・近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から
京都市バス5番「岩倉」行き乗車、
「上総町・京都造形芸大前」下車
（京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分）

●京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から
京都市バス204循環に乗車、
「上総町・京都造形芸大前」下車（約15分）

●京阪電車出町柳駅から
叡山電車に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約10分

※駐車場はございませんので、お車・バイクでのご来場はお断りします。
※所要時間はあくまで目安です。交通事情により大きく変動します。

市川猿之助
市川笑三郎
市川笑也
市川門之助

難役、市川猿之助が初役で挑みます。

みどころ

江戸時代の物売りの風俗を写した楽しさ溢れる舞踊です。独楽売萬作が独楽の由来を語りながら曲芸を披露するのがみどころで、次第に萬作自身が独楽となり、刃渡りや百廻りを軽やかにみせていきます。

双面水照月

金にも女にも目がないという、悪徳かつ破廉恥な堕落坊主である法界坊の芝居『隅田川続碇』の大切で、終幕にあたる舞踊です。

舞台は春の隅田川。永楽屋の娘・お組に恋慕しながら殺された堕落坊主・法界坊の靈魂と、お組と恋仲である松若丸への執念を残しながら法界坊に殺された野分姫の靈魂が合体し、お組そっくりの姿となって、松若丸とお組の前に現れて：醜悪な破壊僧と可憐な女性を踊り分ける難役、市川猿之助が初役で挑みます。

市川猿之助 芸術監督 プログラム

オフィシャルホームページもチェック！

春秋座 芸術監督

で検索！

ここだけの公演写真や公演紹介、舞台裏レポートまで！
たのしいコンテンツがたくさん♪ばくもサイトで待ってるよ！

URL ⇨ <http://www.k-pac.org/kantoku/>



公式キャラクター
このすけ